一般の部

長谷川　酔　月　選

特選

よく笑う人だ輪になる花になる

秋田市　鈴木　明夫

〔選評〕　人の集まりの中ではよく笑う人が中心になることが多い。明るく前向きな作風で楽しい雰囲気が伝わってくる。

秀逸

蛇口から思わぬ昭和溢（あふ）れだす

秋田市　工藤　光一

〔選評〕　昔から見慣れている水道の蛇口だが、ふと昔の情景が浮かんでくることもあるのだ。

青いまま次代へ地球渡さねば

秋田市　小松　隆義

〔選評〕　核威嚇や地球温暖化など地球が危機に瀕している。時代を捉えた作品。

入選

ようこそと船旅癒す風車群

秋田市　小畑　犀川

〔選評〕　目新しい光景に着目した作風が好感。

理髪師に命も預けのどかなり

由利本荘市　長谷部　広

〔選評〕　客の喉に剃刀を当てている理髪師に着目。視点が光る。

古の雅を宿す秋田弁

横手市　岸部　旭星

〔選評〕　平安の趣きが感じられる秋田弁。歴史ロマンを感じる作品。

生き様をみな知っている握り飯

秋田市　荒木　小菊

〔選評〕　人生上の様々な場面を想像させる。衒いのない作風。

身に沁みる士気を鼓舞する母の声

秋田市　佐藤　歩水

〔選評〕　生きていく折々中で母の声が力になる。

漢字力つけなさいねと句碑の声

秋田市　わしやみつこ

〔選評〕　句碑には判読困難なものが多々ある。

大会実行委員会　選

特別賞

八起き目はすっくと立とう後がない

秋田市　宮腰　流木

小・中・高校生の部

長谷川　酔　月　選

特選

光陰が矢の如しさる日曜日
秋田市　秋田クラーク高等学院三年　加藤　このみ
〔講評〕　日曜日はアッという間に過ぎてしまうんだね。誇張された表現が素晴らしいです。

秀逸

鏡餅焼けてしぼんでまるで僕
能代市　能代南中三年　平川　楽和
〔講評〕　怒ったりしょげたりする姿を餅にダブらせていい句になりました。

桜見て気合いをいれる新学期
東成瀬村　東成瀬中三年　菊地　舞音
〔講評〕　家族から出ていくのか。気持だけ一人立ちしたいのか。気持の強さの感じる句ですね。

入選

あぶらぜみじーじーないておはなしね
由利本荘市　西目小三年　金子　奏音
〔講評〕　せみがなかまとはなししているようにみえたんだね。

走るときがんばる顔がすてきだな
五城目町　五城目小四年　笹嶋　優那
〔講評〕　必死に走っている姿を句にしました。

梅雨の庭ゆうがに歩くカタツムリ
五城目町　五城目小五年　小林　正宙
〔講評〕　ゆっくり進むカタツムリを句にしました。

雲の下木々の葉たちがおどり出す
大潟村　大潟小五年　竹田　美咲
〔講評〕　うっそうとした雰囲気が出ています。

夜の町あかりいっぱいあたたかい
秋田市　寺内小六年　石川　翔
〔講評〕　家々の明かりをあたたかく感じたんですね。

響くブザー決戦の場は整った
秋田市　寺内小六年　平賀　颯真
〔講評〕　緊張感みなぎる場面ですね。

古くても思い出あれば宝物
秋田市　寺内小六年　長谷山葵乃
〔講評〕　物を大事にする気持ちが出ています。

街路樹の線をつき抜け走る朝
東成瀬村　東成瀬中一年　佐々木　漣
〔講評〕　並び立つ街路樹の雰囲気が出ています。

川　柳　部　門

ホイッスル静かに願うフリースロー

東成瀬村　東成瀬中一年　**谷藤　里菜**

〔講評〕　緊張感がよく出ています。

勉強だ間もなく迫る勝負の日

能代市　能代南中二年　**大山　陽之**

〔講評〕　受験生の気持ちを素直に表現しました。

マスクごし目元の笑顔絶やさない

東成瀬村　東成瀬中三年　**沼倉　辰樹**

〔講評〕　相手を思う気持ちがステキです。

二次関数呼吸するように解けたなら

秋田市　秋田クラーク高等学院三年　**田中　梨穂**

〔講評〕　難解な二次関数を題材に心情を詠んでいます。